

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

市議団ニュース

2014年10月29日

No.120

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

“燃油高騰、消費税、電気料金値上げで悲鳴が”中小企業への支援を

井上ひさ子議員が質問

日本共産党の井上ひさ子議員は28日、札幌市議会決算特別委員会で中小企業への支援について質問しました。井上議員は、「燃油の高騰、消費税増税、電気料金値上げで中小業者から悲痛な声が寄せられている」とのべ、札幌市が策定した「中小企業振興条例」にもとづき、中小業者の意見が反映される支援策をすすめるよう求めました。

経済局の小野聡産業振興部長は、「市内2000社の調査で今年度上期の市内景気は消費税増税などの影響をうけ3年ぶりに下降に転じている」「依然厳しい状況にある」とのべました。

井上議員は、北海道が行った電気料金再値上げにともなう影響調査で、“経営に何らかの影響がある92.3%”“価格転嫁など今以上の対応はできない22.6%”との結果を示し、「実態をしっかりと把握し対策を講じるべき」とたどしました。小野部長は、「現在行っている小規模企業向けの低利融資制度の活用を周知し促進したい。さらに状況の把握をすすめたい」とのべました。

“新鮮で安心な農産物の供給、環境保全”——都市農業の発展を

伊藤りち子議員が質問

日本共産党の伊藤りち子議員は28日、札幌市議会決算特別委員会で、新鮮で安全な農産物の供給や環境保全などに積極的な役割をはたしている都市農業の発展について質問しました。

伊藤議員は、「さっぽろの農業」（2013年版）の取り組みの現状をただすとともに、都市農業発展の理解をすすめるためにも「農業体験など生産者と市民が交流できる機会を作るための支援を行うべき」と求めました。

経済局の三部英二農政部長は、「（自家用野菜や花の栽培などを小さな農地で育てる）市民農園の開設支援やサッポロさとらんどでの収穫体験など多彩なイベントをすすめている。子ども学習農園を平成27年からスタートさせる」と答弁。伊藤議員は、「食の安心・安全、地産地消などの情報を広げ、市民の財産である都市農業への関心を高めていくために力をつくしてほしい」と求めました。